

ちょうふ環境にゆ〜す

# 未来へつなぐ調布の環境

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7 (直通) FAX 042-481-7550

email kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。



2021年9月  
第44号

刊行物登録番号  
2021-113

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて

お知らせ

調布市と調布市議会は、2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて共同で宣言を行いました

今、そこにある『気候危機』～地球温暖化の深刻化～

地球温暖化の進行により、世界の平均気温は産業革命前(工業化前)と比較して、約1.2℃上昇しました。

国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」第1作業部会は、令和3年8月9日に、「各国が最善の地球温暖化対策を講じても、世界の平均気温の上昇幅が今後約20年で産業革命前から比べて1.5℃に達する」と推計した報告書を公表しました。対策を講じないシナリオでは、2081～2100年に気温の上昇幅が4.4℃になり、熱波などの頻度が高まるとしています。一方、世界全体で2050年頃にカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量の実質ゼロ)を達成するシナリオでは、今世紀中頃から気温の上昇幅は縮小していくと予測しています。

地球温暖化の影響は、記録的猛暑や豪雨、大型台風、山火事、氷河の溶解、農作物被害など、これまで経験したことのない自然現象や生命を脅かす災害をもたらし、世界中で猛威を振るい続けています。

私たちは、新型コロナウイルスとの闘いを乗り越えていくとともに、深刻さを増す気候危機を改めて認識し、立ち向かう行動を直ちに進めていかなければなりません。

このまま人類が温室効果ガスを出し続ければ地球の大半は将来的に居住に適さなくなり、この10年

が分水嶺となると言われています。

この危機に市としても取り組んでいくため、市は市議会と共同で2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロ\*を目指す「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

地球温暖化は、決して他人事ではありません。一人一人の行動の積み重ねが重要です。ぜひ皆さんも、環境に優しい取組をできることから実践していきましょう。



調布市ゼロカーボンシティ宣言

※「実質ゼロ」とは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林などの吸収源による除去量との間の均衡を達成することです。



2100年の気温予想



温暖化の影響を受けやすいサンゴ。白化(骨が透けて見える状態)したのち、死滅していきま



調布市ホームページへ

# 飛田給駅前・調布駅前クリーン作戦

活動報告

令和3年7月13日(火)に第3回飛田給駅前クリーン作戦、14日(水)に第10回調布駅前クリーン作戦をそれぞれ開催しました。

駅周辺の清掃活動を通して地域の交流や活性化を図るとともに、きれいな街で東京2020大会の開催に備

えることを目指し、自治会や商店会、事業者の方や個人参加の方など、飛田給前は7団体44人、調布駅前には29団体160人と多くの方にご参加いただきました。

お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。



# 雑木林ボランティア講座

活動報告

雑木林ボランティア講座は、調布に今も残る里山の風景や雑木林を市民と市が協働で保全していくためのボランティア養成講座です。雑木林の維持管理に役立つ知識や技能を習得します。

第1回「調布の雑木林の過去と現状・佐須の里山観察」6/20(日)

第1回のこの日は、開講式を行い、調布の雑木林の過去と現状について学びました。雑木林は、自然にできた林ではなく、燃料としての薪や、肥料としての落ち葉を使うなど、人の手が入った林です。講師から、皆さんの力を借りて保全していきたいと話がありました。

その後、深大寺・佐須地域の里山や雑木林を実際に見ながら歩き、植物や湧水、田んぼや畑を見学しました。



田んぼや畑の見学

第2回「保全作業と安全管理」7/10(土)

保全作業時の安全管理の必要性について学びました。講師から、事故が起きないように注意してほしい、また、熱中症など体調に気を付けて保全作業を行ってほしいと話がありました。

その後、実際にノコギリで木を切る、鎌で草を刈るなどの体験をし、使った道具の手入れも行いました。



保全作業の体験

## コラム 夏の昆虫

夏の昆虫といってすぐに思い浮かぶのは、カブトムシやクワガタムシ、セミの仲間などです。しかし、調布市内で夏にみられる昆虫はほかにもたくさんいます。その一つが「タマムシ」です。

タマムシの仲間は「タマムシ科」に属していますが、特に有名で美しいのが玉虫の厨子でも知られる「ヤマトタマムシ」です。本種は、体長30～41mm。体表は、全て金属光沢を持ち、緑色の地色

に前胸部から上翅先端まで1対の赤い条線があります。また、幼虫が、サクラやケヤキなどの広葉樹の弱った木や朽木を食べるため、街路樹や公園の植栽樹でも発生し、市内でも比較的によくみることができます。



ヤマトタマムシ



# 夜の生き物観察会

オンラインによる夜の生き物観察会～おうちで夜の生き物の世界をのぞいてみよう！～

東京都に出された緊急事態宣言に伴い、外出の自粛が求められる中、7月24日(土)午後7時～午後9時、深大寺自然広場(かに山)にて、普段見る機会が少ない夜間に活動する昆虫類の調査の様子をオンライン(Zoom)でライブ配信しました。光に集まる昆虫を捕獲する「ライトトラップ法」という手法を使い、捕獲できた昆虫類の解説を行いました。当日は60人以上の参加があり、視聴者からの質問コーナーでは、「トンボはどのようにして夜にいないのか※1」や「クモはどのようにして昆虫ではないのか※2」など40以上の質問が寄せられ、

講師が解説を行いました。当日の様子はYouTubeで視聴可能です。また、質問コーナーの質問・回答の一覧は市ホームページから確認できます。

- ※1 夜間は暗くなるため目があまり見えなくなり、枝などにつかまって休んでいるため。
- ※2 昆虫とクモでは体のつくりが異なるため。



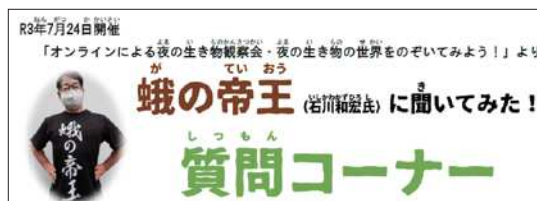
当日の様子ははこちらから



当日のチラシ



昆虫の解説



当日の講師

# 多摩川自然情報館の月別イベント

## 6/12(土)「水生生物と水質の調査をしてみよう」

講師の解説を受けながら、こどもたちや保護者が、川の汚れを簡単に測定できるキット(パックテスト)や水生生物の種類により、多摩川(五本松公園付近)の“水のきれいさ”を調べました。調べた結果、COD(化学的酸素要求量)は4mg/lと適度にきれいであり、水生生物による水質階級はⅡ(少しきたない水)となり、様々な生き物がすむのに適した川であることがわかりました。

### <確認した生き物>

【水生生物】コオニヤンマ、コガタシマトビケラ、シナヌマエビ、ハグロトンボ、ヒラタカゲロウ、

モクズガニなど

【魚類】アユ、スミウキゴリ、ヒガシシマドジョウ、ヌマチチブ

【水草】オオフサモ(特定外来生物)

## 6/13(日)「多摩川植物観察会」

講師の解説を受けながら多摩川(多摩川自然情報館付近)を歩き、生育している植物の種類や生態などを学びました。

確認した植物は60種以上で、代表的な初夏の植物(在来種)として、ツユクサやヤブカンゾウがみられました。中には、東京都レッドリスト2020に選定されている重要種として、カワチシャやカワラサイコもみられました。

一方で、ハルシャギク、メリケンガヤツリといった外来種が目立ち、特定外来生物に指定されているアレチウリ、オオカワチシャ、オオキンケイギクもみられました。



生き物の観察



ツユクサ



ヤブカンゾウ

# こども版調布市環境基本計画を発行しました

お知らせ



こども版調布市環境基本計画とゴヤたん

市の環境に関する最上位計画として、令和3年3月に改定した「調布市環境基本計画」では、重点プロジェクトの中で、重点事業として「小・中学生への環境活動機会の提供」を位置付けています。

このたび、こども版調布市環境基本計画を発行しました。調布市の環境の今、環境をよりよくするために、市が取り組むべきこと、みんなで取り組んでいくことなどをまとめています（全12ページ）。

詳細は市ホームページをご覧ください。



こども版調布市環境基本計画へ

# 公有地を活用した環境学習

お知らせ

深大寺・佐須地域で市が公有化した土地を、里山や農に触れ合える体験型の環境教育の場として活用しています。昨年、環境教育の一環として近隣に位置する市立柏野小学校の5年生児童や保護者、教員、近隣市民等の多くの方々が、田植えや稲刈りを行い、令和3年5月10日に収穫したお米がサプライズで給食に提供されました。

給食提供日は児童には事前に知らされておらず、給食の準備中に校内放送で昨年みんなが育てたお米であることが放送委員会よりアナウンスされました。6年生児童からは「あの時のお米！」と驚きの声が上がりました。

ちで育てたお米を食べられるのが待ち遠しい様子でした。食べた感想を聞くと、「いつものお米と違う！」（男子児童）「噛めば噛むほど甘みがあっておいしい！」（女子児童）との感想が返ってきました。今年も環境教育の一環で5年生児童が田植えや稲刈りを行っています。



# 雨水浸透ます設置

お知らせ

局地的な豪雨対策と豊かな湧水のために雨水浸透ます設置にご協力ください

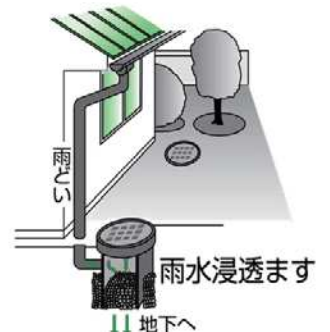
雨水浸透ますとは、屋根に降った雨水を雨どいを通して集め、地下に浸透させるための設備です。これまで下水道に流していた雨水を地中に浸透させることで、局地的な豪雨などの大雨時の浸水被害を軽減するとともに、湧水の復活、保全につなげます。植物や魚などの生き物の生息環境を守るためにも、雨水浸透ますの設置にご協力ください。

対象は市内の住宅と個人が所有する共同住宅で既存のもので、設置にあたっては、設置可否の下見を行います。

設置工事は半日～1日程度。設置後の所有及び管理は住宅所有者となります。

【設置費用／無料】

お申込み・問合せは、直接または電話、FAX、Eメールで環境政策課へ



# 調布市いきものフォトコンテスト 2021

お知らせ

11月30日まで作品募集中！詳しくは調布市ホームページまたは募集要項をご覧ください。



調布市いきものフォトコンテスト 2021 へ